

バイオマス産業都市さがとは？

暮らしから発生するごみ・排水、森林や製材所の未利用木材など「廃棄物であったものがエネルギーや資源として価値を生み出しながら循環するまち」を目標とした取組です。

「バイオマス産業都市さが」のPR

清掃工場には、市民、学校、団体、企業など幅広い分野の方、また、海外の方も視察に来られており、「バイオマス産業都市さが」の説明や二酸化炭素分離回収設備の見学を実施しています。

また、出前講座の実施や展示会への出展、ウェビナー、ウェブミーティングの開催など、多くの方に「バイオマス産業都市さが」を知ってもらえるようPRに取り組んでいます。



二酸化炭素分離回収設備の見学の様子



ウェブミーティングの様子

二酸化炭素分離回収設備～二酸化炭素の活用～

清掃工場では、平成28年8月に二酸化炭素分離回収設備が完成しました。この設備は、ごみ処理過程で発生する排出ガスから日量最大10tの二酸化炭素を回収します。地球温暖化の原因となる二酸化炭素を分離回収し、これを資源として、平成28年12月から株式会社アルビータの藻類培養施設へ供給し、藻類の培養に活用しています。

また、平成30年12月にはJA全農・JAさがと包括連携協定を、平成31年3月にはグリーンラボ株式会社とバイオマス資源利活用協定を締結し、それぞれの植物工場へも二酸化炭素を供給しています。



二酸化炭素分離回収設備



清掃工場から見た藻類培養施設・植物工場

新たなビジネスを生み出すことを目指す取り組み

新しい資源循環による産業（サーキュラーエコノミー）の創出を目指す佐賀市は、新たな技術開発やアイデアを広く取り入れるために、Web プラットホーム「コードクリエーション・サーキュラー・エコ佐賀（CCCS）」を開設しました。

資源循環型産業にかかるさまざまな情報を発信するとともに、同じ方向性を持つ企業や関係機関を結びつけて新たなビジネスを生み出すことを目指します。



「藻類産業が集積するまち」に向けた取組

平成28年8月に、佐賀大学、筑波大学及び佐賀市で藻類バイオマス利活用に関する開発研究協定を結び、平成30年3月には佐賀大学内に「さが藻類産業研究開発センター」を設置しました。藻類の培養や有用成分の抽出などの研究に取り組んでいます。



さが藻類産業研究開発センター屋外培養実験施設

平成29年7月に、企業、大学、金融、行政が集まって「さが藻類バイオマス協議会」を設立し、講演会の開催等の情報提供やビジネスマッチングなどにより、藻類産業の創出に向けて取り組んでいます。

当協議会は令和2年4月1日に任意団体から一般社団法人（非営利型）に移行しました。



展示会への出展の様子